

平成 26 年度

ふるさと納税による寄附金の活用状況

本町は、「かごしま応援寄附金」の取組みと合わせ、独自に「屋久島町だいき寄附条例」を制定し、寄附金の募集を行ってきました。

平成 26 年度末現在で、

- かごしま応援寄附金 2,284,499 円 (うち、本町指定 延べ 65 名)
- 屋久島町だいき寄附金 22,443,853 円 (延べ 138 名)

の寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

平成 26 年度は、「山岳部環境保全事業」に 2,000,000 円を、「口永良部島衛星ブロードバンド事業」に 1,252,800 円を活用させていただきました。

屋久島山岳部環境保全事業の活動に寄付金を活用

屋久島の山岳では、平成 20 年 4 月まで避難小屋に付帯するトイレのし尿を土埋処理していましたが、トイレの利用の増加に対し土壌分解がおいつかず、臭いやハエが発生をはじめ、生態系への影響や飲料水等の水環境への負荷が懸念されたことから、避難小屋トイレのし尿を里地の処理施設まで人力で搬出しています。

このし尿の搬出は、屋久島山岳部利用対策協議会が「屋久島山岳部保全募金」を財源に搬出を行っていますが、平成 26 年度は収受額が 20,751,219 円だったのに対し、支出額が 23,707,310 円であり、約 300 万円の赤字が出ています（屋久島町HP内にある屋久島山岳部利用対策協議会のページに収支内訳を掲載しています）。年度途中には予定していた募金額が収納できなかったため、11 月から搬出作業を実施できずに避難小屋トイレの周辺にポリバケツで貯め置きしている状況でした。

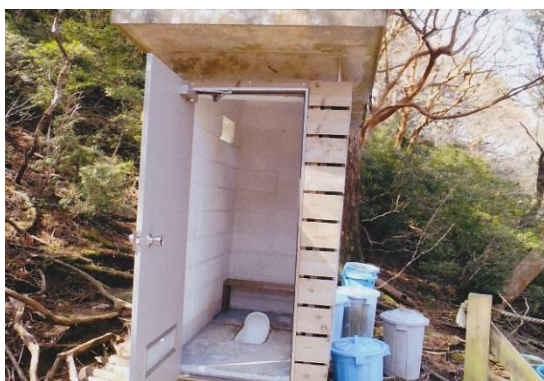
このことから、今回いただいた屋久島だいき基金を活用させていただき、高塚小屋に溜め置きされていた約 1,080 L のし尿と新高塚小屋の約 120 L（高塚小屋 1,729,427 円分、新高塚小屋 291,159 円分）のし尿を搬出しました。

この他にも自然保護の課題が山積しており、山岳部の保全状況は引き続き厳しい状況になっています。今後とも皆様からのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。



屋久島山岳部保全募金は、一口 500 円で協力をお願いしています。

写真は荒川登山口に設置した募金箱ですが、淀川登山口、ヤクスギランド、屋久杉自然館など、様々な場所で協力をお願いしています。



高塚小屋トイレ周辺の状況。

避難小屋トイレの周りには搬出しきれないし尿が、ポリバケツに入れて溜め置きされています。



漏斗と柄杓を使って、便槽・ポリバケツから人が担いで搬出するためのタンクにし尿を移します。毎年、10,000L以上のし尿を避難小屋トイレから搬出しています。



タンクには約20Lのし尿を入れ、車が乗り入れできる登山口まで、人肩で山道を歩いて運びます。タンクをビニールで被い背負子にくくりつけ、し尿がこぼれないように細心の注意を払っています。

口永良部島衛星ブロードバンド設置に寄付金を活用

口永良部島「新岳」は昨年8月3日、34年ぶりに噴火しました。

現在も噴火警戒レベル3を継続し、噴石の飛来や火砕流等の危険があるため入山規制を行っています。

また、火山活動の活発化により二酸化硫黄濃度が高いことから測定結果の公表を行っています。

今後、台風シーズンに入ってくることから住民の安全確保のため早期の状況把握が必要です。しかしながら口永良部島の情報通信の状況は、ISDNと通信速度が遅く情報の伝達に時間を要するため、衛星ブロードバンドを導入し、通信用のタブレット端末2台を購入いたしました。

これにより即座に状況の確認ができ、適切な対応ができるものと考えております。

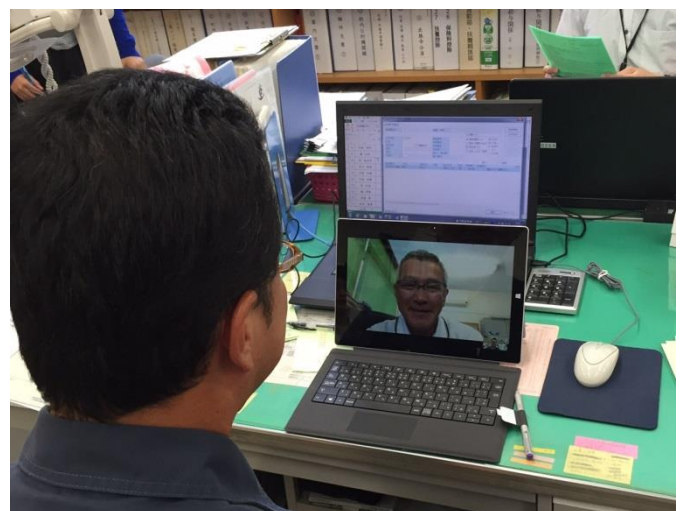
また、平成27年度設置する「地域おこし協力隊」の情報発信にも活用を検討しており、口永良部島活性化のため活用が期待されます。



口永良部出張所に設置した衛星ブロードバンド パラボラアンテナ



電話会議による状況報告（口永良部島）



電話会議による状況報告（役場総務課）